

第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり

c. 縄文文化の成立と生活・信仰(2)

☆縄文時代は新石器時代か、旧石器時代か？

復習：旧石器時代と新石器時代の違いは？

磨製石器や土器を用いる面では[1 **新石器**]時代だが、牧畜・農耕といった [2 **生産**]経済が進んでいない点では[3 **旧石器**]時代的である。

→ちなみに、縄文土器は 4 **世界最古の土器の一つ**

④食物獲得の多様化→生活の安定化

⑤生活の安定化→しだいに[5**定住**]化がすすむ

[6**竪穴**]住居に家族で住み、水辺に近い[7**台地**]上に4～6軒(20～30人)で集落をつくる

ひろばを囲む形で住宅が環状に並ぶ。貯蔵穴や墓地、巨大な建造物をともなうものもある
(青森県[8 **三内丸山**]遺跡など)

⑥広範な[9**交易**]の存在=[10 **黒曜石**]・サヌカイト、[11 **アスファルト**]、ひすい(硬玉)などの流通
石器の原料 接着剤

⑥当時の生活

男性は12 **狩猟や石器作り**、女性は13 **木の実とりや土器作り**などで働く

集団には14 **統率者がいても身分の上下関係や貧富の差はなかった**と考えられる

⑦縄文時代の信仰…生活の不安定さ→資源の枯渇や自然条件に左右される (p11)

→[15 **飢餓**]の危機・成人平均寿命=[16 **31**]歳、乳幼児の死亡率が高い



アニミズム=[17 **自然物や自然現象に精霊が宿ると考える**

→呪術で災いを避け、獲物の増加をねがう→のちの神道へ

[18 **土偶**]や 石棒、[19 **抜糸**]の風習、 [20 **屈葬**]による埋葬
女性をかたどる 通過儀礼

食料の獲得法が多様化したことによって、人びとの生活は安定し、定住的な生活がはじまった。彼らは地面を掘りくぼめ、その上に屋根をかけた[21 **竪穴住居**]を営んだ。住居の中央に炉が設けられており、炊事をともにし、同じ屋根の下に住む一世帯の住まいであったことを示している。集落は日当たりがよく、飲料水の確保にも便利な水辺に近い[22 **台地**]上に営まれた。それは広場を囲んで数軒の住居が環状に並ぶも

のが多く、住居だけではなく、食料を保存するための貯蔵穴群や墓地、さらに青森県三内丸山遺跡のように集合住居と考えられる大型の建物がともなう場合もある。これらのことから、縄文時代の社会を構成する基本的な単位は、[23 **4～6**]軒程度の世帯からなる[24 **20～30**]人ほどの集団であったらしい。

こうした集団は近隣の集団と通婚し、さまざまな情報を交換しあった。また[25 **黒曜石**]など石器の原材料やひすい(硬玉)などの分布から、かなり遠方の集団との[26 **交易**]もおこなわれていたことが知られている。人びとは集団で力をあわせて働き、彼らの生活を守った。男性は狩猟や石器づくり、女性は木の実とりや土器づくりにはげみ、集団には統率者はいても、身分の上下関係や貧富の差は[27 **なかった**]と考えられている。

縄文人たちは、あらゆる[28 **自然物や自然現象**]に霊威が存在すると考えた。これを[29 **アニミズム**]という。そして[30 **呪術**]によって災いをさけ、豊かな収穫を祈った。こうした呪術的風習を示す遺物に、女性を形どった[31 **土偶**]や男性の生殖器を表現したと思われる[32 **石棒**]などがある。また、縄文時代の中ごろからさかんになった抜糸の風習は、[33 **通過儀礼**]の一つとして成人式の際などにおこなわれたものと考えられており、集団の統制のきびしさをうかがわせる。葬送においては死者の多くが[34 **屈葬**]されている。

※通過儀礼とは 人生の各段階を通過するときに行われる行事

簡単に言えば **成人式**

※屈葬の目的は 教科書の説明 死者の霊が生者に災いを及ぼすことを恐れる

別の説 胎児の形をまねることで死者の再生をのぞむ

<まとめ>

○×で答えよう。

- a.()縄文土器は世界最古の土器とすることができる。
- b.()縄文時代の人々は狩猟や漁労、植物の採取のみの生活であった。
- c.()縄文時代の人々は、移動しながら生活し、その住居も簡単なものであった。
- d.()縄文時代の人々は、ごく近いところに住む人として、交流がなかった。
- e.()縄文時代には、リーダーはいても、集団の中に、貴族や大金持ちという人はいなかった。
- f.()縄文時代の人々は、川や岩、太陽や風などに神が宿り、神の力であると考えた。
- g.()縄文時代の人々は、身体をまっすぐ伸ばして葬られた。
- h.()縄文時代の人々が歯を抜いたのは、今でいう成人式のためであると考えられている。

<>内に適語を入れよう。

i.縄文人の住居は< **竪穴住居** >であり、広場を中心にく **4～6** >軒程度で住んでいた。

j.縄文の人々は< **自然物や自然現象** >に聖なる力があると考えた。

このような考えを< **アニミズム** >という。

k.青森県の< **三内丸山** >遺跡は1000年以上続いた集落の遺跡であり、巨大な< **建造物** >がつけられていた。

l.三内丸山遺跡では、< **石器** >の原料である北海道産の< **黒曜石** >や、新潟産の< **ひすい** >がみつかった。

m.女性をかたどった< **土偶** >など呪術的な像が残された。

n.この時代、人々は< **屈葬** >で葬られた。